



公益財団法人

日本学術協力財団

Newsletter of Japan Science Support Foundation

ISSUE 28, January 2020

# Newsletter



## 年頭の挨拶

公益財団法人日本学術協力財団

会長 吉川 弘之



2020 はどんな年か。予測がつかない。今年の台風の被害は予想を超え、地球温暖化がその原因だと説明される。地球温暖化は自然科学に依拠する技術的人間行動が原因なのだから、予想される災害の増加から人々を守るためには、災害ごとの救済だけではなくその原因の科学研究と技術開発が重要であるが、その歩みは遅い。

世界では、温暖化だけでなく多様な原因を背景とする様々な問題が生起している。例えば社会科学的成果を根拠とする拘束的経済原理が乱立し、国家間の利害の不一致を生む。それはまた外交、安全保障の不安定さを生み、社会的格差を拡大しながら、人々の間に不安と不満を増大させているという状況がある。ところでこれらの原因の多くも、人類の行動そのものが原因であると考えなければならないものであって、その点では温暖化と同質である。温暖化による災害と社会的不満による混乱、この一見関係のない二つが同質の原因を持つとすれば、その同質性の解明が急務であり、それを科学者として考えないことは許されないであろう。

技術も社会制度もそれらを支える科学的原理は限定的であり、決して科学的に完成度の高い原理とは思われない。気候変動を引き起こした技術は、多く自然科学的発見に基礎を置いているが、それは特定の行動の拡大のみに寄与する科学的発見に限定されている。人々の不安と不満を引き起こした社会的制度は、局所的な合理性を論じる社会科学のみに基礎をおいている。

this issue

年頭の挨拶  
学術会議叢書 26 出版について  
学術関係団体事務支援事業  
学術会議叢書 25 について  
寄附金及び賛助会費の税額控除  
データベース「学会名鑑」について  
公開講演会開催に対する支援  
出版物のご案内

公益財団法人日本学術協力財団は、賛助会員と助成金・寄付金を拠出いただいた方々のご厚意により、運営されています。

— 編集・発行 —

公益財団法人

日本学術協力財団

〒107-0052

東京都港区赤坂 4-9-3

TEL 03-3403-9788

FAX 03-5410-1822

URL <http://jssf86.org/>

2020 年 1 月 1 日発行

振り返ってみれば、科学は人類の知的好奇心に導かれて発展してきたのであり、それが不動の知識体系を作り上げてきたことは歴史的に証明されている。しかし、科学者が直観しているように科学は発展の途上にあり、我々の知的空間には自然科学にも社会科学にも未知の暗黒の空間が残されている。現代の邪悪なるものは、その空間をそのままにして「使える科学的知識」を使用した結果である。この使用の問題はすでに1999年のICSUとUNESCOの会議で指摘され、それは現在のSDGsの具体的課題として再提案された。各課題への対応が始まってはいるが、科学の途上性と使用の科学という視点は触れられないままである。これから取り掛かる科学の基礎研究が、暗黒空間を攻略しつつ使用の科学を確立するものであってほしい。

## 学術会議叢書 26

### 『社会脳から心を探る—自己と他者をつなぐ社会適応の脳内メカニズム—』 (仮題) の出版について

財団では、毎年、学術図書として『学術会議叢書』を発行しています。令和元年度は、『社会脳から心を探る—自己と他者をつなぐ社会適応の脳内メカニズム—』(仮題)と題し、1月に発行を予定しております。

現在、発刊を目指して鋭意作業を行っております。是非、ご期待ください。

なお、この叢書につきましては、例年と同じく、公益財団法人一ツ橋総合財団から助成をいただき、全国約1,500か所の国公立図書館、大学等に寄贈を予定しております。

#### 【執筆予定者】

学阪直行 京都大学名誉教授

菊知 充 金沢大学医薬保健研究域医学系精神行動科学教授

大平英樹 名古屋大学大学院情報学研究科教授

高橋英彦 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科教授

松井三枝 金沢大学国際基幹教育院教授

今水 寛 東京大学大学院人文社会系研究科・工学系研究科人工物工学研究センター教授

大木 紫 杏林大学医学部教授

前田貴記 慶應義塾大学医学部講師

村田 哲 近畿大学医学部准教授

(敬称略)

## 学術関係団体事務支援事業

#### 【日本農学アカデミー】

令和元年11月3日、東京大学弥生キャンパス弥生講堂においてシンポジウム「ICTが変える食料・農業・農村」が開催され、財団がその支援を行いました。

## 学術会議叢書 25 について

平成31年2月に発行いたしました学術会議叢書25『IT・ビッグデータと薬学—創薬・医薬品適正使用への活用—』を、公益社団法人日本薬学会様の機関誌「ファルマシア」(2019年55巻11号)でご紹介いただきました。

[https://www.jstage.jst.go.jp/article/faruawpsj/55/11/55\\_1057/\\_article/-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/article/faruawpsj/55/11/55_1057/_article/-char/ja)

# 寄附金及び賛助会費の税額控除について

公益財団法人である弊財団に対する賛助会費・寄附金は、特定公益増進法人への寄附金として、確定申告により税額控除等の税制上の優遇措置を受けられます。

個人の方の弊財団に対する賛助会費及び寄附金につきましては、確定申告により、所得税の税額控除または所得控除のいずれかを選択して受けることができます。

また、お支払いいただいた翌年の1月1日現在、東京都にお住まいの方は個人住民税の税額控除を、東京都港区にお住まいの方は特別区民税の税額控除も、確定申告により受けることができます。

法人の場合は、法人税について、一般寄附金の損金算入限度額とは別枠で、特定公益増進法人に対する寄附金として特別損金に算入できます。算入限度額を超えた分は、一般の寄附金に係る損金算入限度額に算入できません。

昨年1月1日～12月31日までにいただいた賛助会費・寄附金につきましては、本年の確定申告の際に必要な領収証等を、昨年12月初旬にお送りいたしました。

(本年1月以降に賛助会費をお振込みいただいた場合は、本年12月初旬から順次郵送書類を送付する予定です。)

控除の限度額等の詳細につきましては、最寄りの税務署にお問い合わせください。

御支援を賜りました皆様に、改めて御礼を申し上げます。

## データベース学会名鑑

### —令和元年度調査について

財団は、平成23年7月より、学協会の活動を発信するとともに科学技術情報の効率的な流通を目的として、日本学術会議、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）と連携してデータベース学会名鑑の運用を行っております。掲載学会は、日本学術会議協力学術研究団体を対象とし、毎年、日本学術会議が行う実態調査を基にデータを更新しております。

本サイトは、学協会関係の各種施策の企画・立案等、社会の多方面で活用されています。

令和元年度調査は、令和元年10月より開始されておりますので、各学術団体の関係者の皆様におかれましては、本事業にご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

データベース学会名鑑 URL

<https://gakkai.jst.go.jp/gakkai>



## 日本学術会議地区会議の公開講演会開催に対する支援

財団は、日本学術会議の各地区会議が開催する下記の学術講演会について、開催に係る支援を行いました。

### ◎北海道地区会議主催

「スポーツ・科学・社会」

日時：2019年11月9日（土）

場所：北海道大学学術交流館小講堂

### ◎中国・四国地区会議主催

「SDGs（持続可能な開発目標）の実現に向けた地域研究とイノベーション研究」

日時：2019年11月16日（土）

場所：山口大学大学会館大ホール





## 出版物のご案内

※お申込みは FAX にて **03-5410-1822**

品切れを除く近刊の書籍については  
Amazon からもお買い求めいただけます。



### 学術の動向

A4 判・本体価格 720 円＋税 (送料込)

年間購読 8,383 円 (税・送料込)

賛助会員は毎号 1 冊無料配布

- 2019 年 10 月号 持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に向けた環境リスクを考える  
——有害物質と私たちの健康と生活  
危機に瀕する学術情報の現状とその将来 Part2
- 11 月号 地理総合と歴史総合  
——何が変わるのか、どう向き合うのか  
研究船による海洋観測  
——地球環境問題解明と社会への成果還元へ向けて
- 12 月号 Gender Equality 2.0 から SDGs を展望する—架け橋—

### 学術会議叢書

A5 判・本体価格 1,800 円＋税 (送料別)

賛助会員は割引価格 1,782 円 (税・送料込)



- |                        |                        |
|------------------------|------------------------|
| 2 科学技術教育の国際協力ネットワークの構築 | 21 高レベル放射性廃棄物の最終処分について |
| 9 医療事故は予防できるか          | 22 地殻災害の軽減と学術・教育       |
| 12 どこまで進んだ男女共同参画       | 23 子どもの健康を育むために        |
| 16 食の安全を求めて            | 24 〈いのち〉はいかに語りうるか?     |
| 17 ダーウィンの世界            | 25 IT・ビッグデータと薬学        |
| 18 科学を文化に              | —創薬・医薬品適正使用への活用—       |
| 20 放射能除染の土壌科学          |                        |

### 日学新書

新書判 本体価格 750 円＋税 (送料別)

賛助会員は割引価格 743 円 (税・送料込)

- 2 感覚器 [視覚と聴覚] と社会とのつながり



◎ 当財団の運営、ニュースレター等に関するご意見、ご要望がございましたら、当財団総務担当までお寄せください。

今後の参考にさせていただきます。皆様方のご意見、ご要望をお待ちしています。

## 公益財団法人日本学術協力財団

〒107-0052 東京都港区赤坂 4-9-3

TEL 03-3403-9788

03-5410-0242

FAX 03-5410-1822

URL <http://jssf86.org/>